

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2025年												2026年				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~1日	3月 ~8日	3月 ~15日
カンピロバクター	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	18	22	26	7	6	5
病原性大腸菌	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	52	51	47	8	12	13
腸管出血性大腸菌	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	2	0	0	0	0
サルモネラ	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	12	17	11	2	1	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	13	11	7	5	5	5
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	1	0	1	0
ロタウイルス	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	1	8	8	3	3	2

*その他は、エルシニアでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和8年第11週(3月9日~3月15日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10			3	1	5		1
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1					1		
五類	12	ウイルス性肝炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	1		1				
		急性脳炎	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1			1				
		梅毒	5					4		1
		百日咳	2							

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

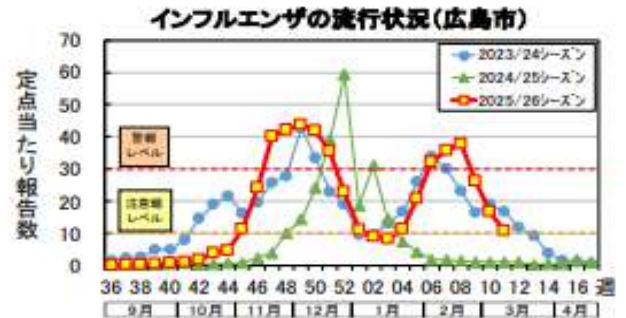
● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり10.59人の報告がありました。減少傾向ですが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が10件報告されており注意が必要です。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第11週 A型:1人、B型:61人



2 感染性胃腸炎

定点当たり8.62人と、多い状況が続いています。また、ノロウイルス等による感染性胃腸炎の集団発生が、3月以降に5件報告されています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.00人の報告があり、前週の約1.8倍に増加しました。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、莓舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	増減	
														急増減	増減
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2041	60.03			→	小児科	突発性発しん	6	0.29	0.26			急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	インフルエンザ	360	10.59	6.35		↘		ヘルパンギーナ	2	0.10	0.05			増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	18	0.53			↘		流行性耳下腺炎	3	0.14	0.03			微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	9	0.43	0.38		↘	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-			横ばい	ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	2	0.10	0.36		↘		流行性角結膜炎	6	0.75	0.28				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	3.00	1.16		↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	181	8.62	7.70		↘		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	5	0.24	0.09				マイコプラズマ肺炎	2	0.33	0.03				
	手足口病	-	-	0.16				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.08				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	29	20歳代・1人、20歳代・推定感染地域:国外・1人、40歳代・1人、80歳代・2人
4	レジオネラ症	1	3	70歳代・市外
5	ウイルス性肝炎	1	1	20歳代・B型
5	急性脳炎	1	4	10歳未満
5	梅毒	4	20	30歳代・2人、30歳代・推定感染地域:国外・1人、40歳代・1人